

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）
考える子 心の美しい子 たくましい子	1 自ら考え、友と協働し合って問題を解決する子ども 2 友と認め合い、支え合って、互いを大切にしよう子ども 3 目標を持ち、自ら心身の健康を求める子ども

今年度の重点目標	評価平均	成果と課題
① 関わり合って考える子	3.0 A	○学習・生活面ともに互いに話し合いながら進めていく姿が出てきた。友だちの考えに耳を傾け、友だちの意見を聞いて疑問をもったり理解したりしている。 ○子どもたちの発言を大切に認め合う授業に心がけた。仲間と学習し創りあげていくことを楽しんでいる。自他のよさ、ちがいに目を向けて関わっている。 ○3人グループで解いたり友だちに聞きにいったりする時間を設け、自分と違う考えに触れて、新たな視点で物事を見る子どもの姿が見られた。 ○少人数グループの意見交換をできるだけ多く取り入れ、関わり合う場面を設けた。活発に話し合いが行われている。 ○班で協力せざるを得ない状況をつくり、学び合いながら実験等を進めた。わからないところを聞き合い理解が深まっている。 ○教室であいさつの取組をしたがよい方向に向かった。あいさつができる子が少し増えてきている気がする。教室ではあいさつが大きな声でできる。
② すすんであいさつをする子	2.2 C	●あいさつの大切さを伝えたい。目に見える評価を工夫したい。まわりに対して気を配るなど思いやり、やさしさ等根底から見直したい。
③ 元気に体をきたえる子	3.0 A	○マラソン、なわとびと2学期の後半充実していた。友と関わりながら体を動かしている姿があった。ステップロードでも進んで体を鍛えていた。 ●具体的には取り組めなかった。個人差があり、工夫が必要。マラソンがあっても外に出られない子がいる。

職 業	学 校	評価項目	評価の観点	評価平均	成果と課題
学校教育	学習指導	授業導入の工夫	①子ども達が一時間の見通しを持つことができているか。 ②子ども達は興味関心を持って授業に臨んでいるか。	2.9 B	○ねらいを明確にして課題解決に向けた導入ができた。課題意識をもって意欲的に学ぶ子どもの姿が見られた。思いをもって取り組む子が多い。 ○1時間の学習（単元の見直し）の流れが分かる見通しをもって取り組める。活動の流れを示すシート、ホワイトボードの活用。 ○導入・教材との出会わせ方・振り返りの工夫。発展・応用学習を適宜取り入れていく。パターン化も有効である。 ●関心意欲の継続。考えなくなる問いの設定を考えていきたい。
		授業展開の工夫	③子どものニーズに応じたペア学習、グループ活動を続けているか。 ④体験活動や操作活動等の五感を働かせる活動を位置づけているか。	2.9 B	○ペア学習グループ学習を効果的に位置づけている。人数や組み合わせは、教科や学習内容等に合わせて変えている。ねらい・ニーズに応じた活動を工夫したい。 ○町探検を1年継続して行うことで季節の変化を実感することができた。 ○見る・触れる活動、動く活動を取り入れてきた。実際にやってみることでイメージしやすくなる。具体物を使い体験することを大事に位置づけてきた。
		授業終末の充実	⑤自らの学習の学びをふり返ったり、友達の学びを認め合う場を設けているか。	2.4 B	○よかったところを取り出して振り返っている。学習カードを使って時間配分を考えている。 ●自己の振り返りに留まっていて、全体での共有に至らない。全体では振り返るが各自での振り返りを行えないこともある。時間の確保ができないことが多い。
生活	あいさつが響き合う	⑥あいさつの声が校内・校外で響き合う学校に向けて取り組んでいるか。	2.4 B	○こちらから積極的にあいさつをし、よい姿をほめるように心がけている。教室等では大きな声であいさつができる子が増えている。 ●「金管クラブから発信しよう」と取り組んだり、学年集会で話し合ったりしているがなかなか改善されない。	
		⑦学年・学校として、職員が連携して子ども達の課題に取り組んでいるか。	3.2 A	○学年間で迅速かつ丁寧な情報共有ができています。職員間の連携がとれていて、スムーズに進むケースが多い。 ○トラブルがあったときは、担任だけでなく学年で指導している。 ○職員会で情報共有ができていて、さらに日頃からざっくばらんに状況を言える機会を設けていく。	
学級経営	学級づくり・仲間づくり	⑧道徳や特別活動の時間で、子どもと教師間・子どもと子ども間の信頼関係を構築する活動が行われているか。 ⑨子どもが自分を見つめ直したり所属感を高めたりできるような相談・面接活動を行っているか。 ⑩体の成長に目を向けたり、積極的に体を動かしたりするような環境づくりや子どもたちへの働きかけを行っているか。	2.9 B	○一人一人の児童への声かけを毎日行うとともに、子ども同士の関わりかが深まる活動を多く行うことができた。一人一人の声に耳を傾け、認めていきたい。 ○友だちとの関わりの中で伝え方を一緒に考え、お互いが気持ちよく過ごすためにどんな言葉でどんなふうに変えたらよいか学習した。 ○音楽に合わせてのジャンケン列車などを教室でもなるべく取り入れた。体育では集団ゲームをたくさん取り入れた。 ○マラソンにクラスで取り組むことで、クラスの目標をもってがんばることができた。 ○帰りの会などでがんばっている友だちを発表し合ったり、担任が見つけたよい姿を伝えたりしている。 ○相談ウィークの機会やその他必要な時間の折に個人の不安や悩みを聞いた。 ○悲しい思いをしている子には、必ず相手の気持ちも聞いた上で解決するようにした。話しやすい雰囲気づくりも心がけ、楽しいクラスづくりを意識した。 ○子どもの思いを聞き合う時間をとった。本音で語り合える、考え合える時間が多くとれたと思う。 ○クラスで起こったことにはしっかりと向き合い、学級活動で話し合い、その後の生活まで目を向けられるよう取り組んだ。 ●もっと体を動かしたり話をしたりして関係づくりを行っていきたい。もっと子どもの願いに添った活動が必要だと思っている。 ●子ども一人一人の内に目を向けようと心がけたが、全体指導の形での指導が多くなってしまった。 ●性教育が実施できなかったため、3学期にしっかりと行いたい。	
学校運営	地域との連携	適切な情報発信	⑪学校・学年・学級の指導方針や様子について、学級懇談会やお便り、HPなどでわかりやすく伝えているか。	3.0 A	○学年だより、学級懇談会で子どもの様子や学校生活について発信している。学級通信では子どもの様子や担任の思いを具体的に掲載した。 ●学級だよりをもっと出したい。
		P T A と の 協 力	⑫ P T A と 協 力 し な が ら、 よ り よ い 学 習 活 動 や 学 習 環 境 作 り を め ざ し た 活 動 が 行 わ れ て い る か。	2.9 B	○ P T A 作 業、 リ サ イ ク ル デー、 読 み 聞 か せ、 プール 当 番 な ど、 多 くの 場 面 で 学 校 教 育 に 忙 し い な か ご 協 力 い た だ い て い る。 ●学級懇談会をもっと充実させたかった。もっと話し合える関係を築きたい。 ● P T A 作 業、 バザー の 協 力 等、 一 部 の 家 庭 に 負 担 と な っ て い る の で は な い か。
		地域との交流	⑬神川小ボランティア・学習ボランティアが軌道に乗るような取り組みが行われているか。	2.7 B	○クラブ、九九、習字、ミシン、休み時間のボランティアに来ていただき大変助かった。子どもたちの学びや成長を支えていただいている。 ●計画性をもち、もう少し早く依頼をすべきであった。活動が終わってからボランティアの方に来ていただければよかったと思うこともあった。 ●決まったときだけでなく、日常的に来ていただくと、国際教室などは助かるのではないかと。
研修	授業改善の研修	⑭「安心した居場所となる学級・学校」をテーマとして、授業力向上のための研究や研修が実践できているか。	2.9 B	○授業公開デー、研修会とおして学び合える機会を設けている。さらに位置付けていくとよい。 ○職員みながんばっている。自分もその一人としてがんばった。 ●合理的配慮や授業のUD化…みんないっしょに、が職員の中であたりまえになっていくとよい。 ●学び合い、高め合い、支え合う職員集団となるための研修の時間がとれない実状がある。	